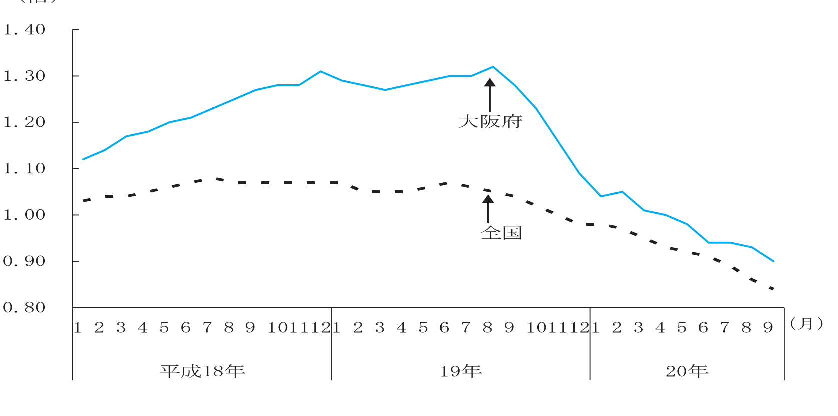
８．有効求人倍率

大阪府の有効求人倍率の推移をみると、17 年後半より１倍を超え、19 年８月には 1.32 倍まで回復しましたが、その後、改善一服となり、20 年５月以降は１倍を割っています。大阪府の倍率は全国の値を上回っているものの、20 年に入って全国の値に接近しています。

年	月	有効求人倍率（季節調整値）	
		大阪府	全国
平成19年(2007)	1	1. 29	1. 07
	2	1. 28	1. 05
	3	1. 27	1. 05
	4	1. 28	1. 05
	5	1. 29	1. 06
	6	1. 30	1. 07
	7	1. 30	1. 06
	8	1. 32	1. 05
	9	1. 28	1. 04
	10	1. 23	1. 02
	11	1. 16	1. 00
	12	1. 09	0. 98
20年(2008)	1	1. 04	0. 98
	2	1. 05	0. 97
	3	1. 01	0. 95
	4	1. 00	0. 93
	5	0. 98	0. 92
	6	0. 94	0. 91
	7	0. 94	0. 89
	8	0. 93	0. 86
	9	0. 90	0. 84

（大阪労働局「労働市場月報」、厚生労働省「職業安定業務統計」）

有効求人倍率の推移（大阪、全国）



有効求人倍率
有効求人数を有効求職者数で割った数値で、新規学卒者に関する求人・求職は除き、パートタイムは含まれています。労働市場の需給状況を見る指標として用いられます。